

男子第三部

準決勝戦第1試合

若手中心の新日本製鐵は、圧倒的な力の差を見せて順当に準決勝戦に勝ち進み、近年進境著しい九電工Aと準決勝戦で対戦。試合は、実力は均衡するも、なんとしても決勝戦に出んとする新日本製鐵の各選手の気迫がわずかに上回り、新日本製鐵が数少ないチャンスを生かし勝負を決めた。

先鋒戦。

長身の小野、右内股で林を攻める。1分30秒、林が払腰にはいつてきたところをつぶして、一回転しながら、肩固めに決める。

中堅戦。

中鉢、内股、足払いに攻めるが、なかなか右引手を持ってない。守勢に回る中島に2分35秒指導、その直後の2分43秒には、引手をつかんだ中鉢が、左内股ではね上げ、技ありを奪う。

大将戦。

波多江、一矢報いんものと一本背負投、大外刈で攻勢に出る。攻め手がない岡から指導を奪い、2分6秒、大外刈りに攻めれば、岡、横倒しに倒れ、有効となる。

新日本製鐵 2 - 1 九電工A

(先鋒) 小野 勇輝 2段		袈裟固		林 直士 3段
(中堅) 中鉢 慧 4段	⊖	優勢勝		中島 大勝 3段
(大将) 岡 一太郎 2段		優勢勝	⊖	波多江純平 3段

準決勝戦第2試合

本大会初出場、長崎市の光仁会病院は大將木村が踏ん張り準決勝戦へ堂々の進出。片や、本大会常連の関西医療学園Aは4年ぶり二度目の優勝を目指し、先鋒杉本、中堅宮下の活躍で危なげなく準決勝戦へ駒を進める。試合は代表戦までもつれるも、これを宮下が一本で制し、決勝戦に駒を進める。

先鋒戦。

脇内右組み、杉本左組みの両者、激しい組手争いの一瞬の隙を衝いて、48秒に脇内が巴投で有効を奪う。リードを許した杉本が片襟からの右背負投、左釣込腰で反撃に出ると、脇内は辛うじてこれをしのぐが防戦一方になり、2分9秒に指導1を受ける。杉本はその後も猛攻を重ね、残り28秒に低い姿勢の右背負投で有効を奪い追い付く。そのままブザーとなり引分。

中堅戦。

共に左組手。昨年までダイコロ所属、体格で上回る宮下は奥襟を掴み、森に圧力を掛ける。防御を余儀なくされた森に28秒指導1。その後も宮下は攻撃の手を休めず、防御の森に58秒指導2、1分54秒指導3。宮下は組手を制して猶も攻め続け、疲労の色濃い森は更に防御姿勢が続き、遂に2分51秒4度目の指導が与えられ、反則負を喫する。

大将戦。

木村右組み、湖城左組みのケンカ組手の攻防は、1分3秒に木村に袖口指導1。暫しの膠着状態が続き、1分47秒、それぞれ指導2、指導1を受ける。その後、リードを許した木村が反撃に転じると、湖城も負けじと応戦。こうした攻防の中、一瞬しっかりと組み止めた木村が左に回り込みながら右内股で跳ね上げると、これが見事に決まって2分44秒、一本。木村がタイに持ち込み、勝敗の行方は代表選に持ち込まれる。

代表選。

代表戦は共にポイントを上げた両雄による決戦。ケンカ組手を制した宮下が開始早々左内股で木村を倒すが惜しくも場外。その後も攻勢に出た宮下が場内から大内刈で追い込んで内股に変化すると木村は場外で横転、46秒一本が宣告される。関西医療学園Aが宮下の活躍で決勝戦進出を果たす。

光仁会病院 1 - 代 関西医療学園A

(先鋒) 脇内 健太 3段	引分	杉本 尚駿 2段
(中堅) 森 健勝 3段	反則勝	宮下 和也 3段
(大将) 木村 健太 3段	内股	湖城 達則 初段
(代表) 木村 健太 3段	内股	宮下 和也 3段

決勝戦

決勝戦は、古豪チーム対新興チームの対戦となったが、両チームの選手は共に若手の伸び盛り同士の対戦。

先鋒戦。

共に右組みながら、試合は身長191cm長身の小野に166cmの杉本が応戦する展開。杉本は押し込む小野の圧力を回り込んでかわしつつ、巧みな組手から絶えず先手を取って右背負投や両襟からの右釣込腰で小野の体を浮かせる。こうした攻防が続く1分20秒、杉本が組み際に右足を小野の右足前に踏み込んで、片襟から右背負投で担ぐと小野はたまらず横転し有効。リードを奪われた小野は一層積極的に前に出て、長身を生かし杉本の頭越しに右奥襟をしっかりと握り、防御の姿勢となった杉本に委細構わず右内股を仕掛け、そのまま巻込んで杉本を横転させる。2分丁度、主審は技ありを宣告したが両副審の右手が上に上がり一本。新日本製鐵が先取。

中堅戦。

左組み同士、ほぼ同じ体型の両者の対戦。新人中鉢が大内刈、払腰で攻めるも、宮下はこれをしっかりと受け止める。宮下の強引な大外刈も功を奏さず。今度は中鉢の強引な払腰を宮下がこらえつつ、そのまま体を預けると中鉢が前方に横倒しに倒れ、2分丁度に有効の宣告。宮下はそのまま崩壊装固で抑えるが10秒で解ける。後半は重量級らしい両者のパワフルな技の応酬が続くが、決め手なくブザー。勝敗の行方は大将戦に持ち込まれる。

大将戦。

共に左組手。試合開始早々、体格で劣る岡が攻勢に出て、湖城は防戦となり、29秒湖城に片襟の指導1。その直後、岡は先手を取って、湖城の組手不十分な体勢を衝き、左に回り込みながら内股で宙を舞わせ、42秒一本勝。新日本製鐵が5年ぶり3度目の第3部優勝を飾る。

新日本製鐵 2 - 1 関西医療学園A

(先鋒) 小野 勇輝 2段	内股	杉本 尚駿 2段
(中堅) 中鉢 慧 4段	優勢勝 ⊖	宮下 和也 3段
(大将) 岡 一太郎 2段	内股	湖城 達則 初段